

『心のふるさとわが母校』

2023/09/29

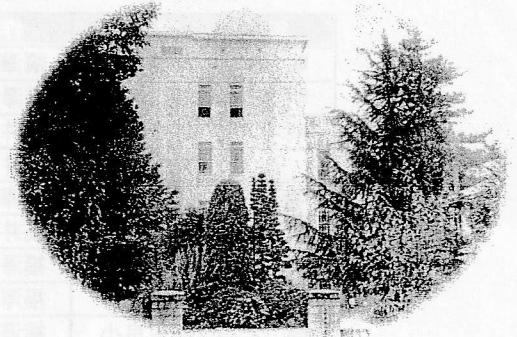
～福澤悦三郎・井出茂太(飯田高校校歌作詞・作曲者)を中心に

「一九会」総会

小木曾 豊

1 校歌の魅力

- (1) Nさんからの電話 “懐かしきふるさと”
- (2) Sさんからの手紙 拙著刊行本への返答



2 懐かしきふるさととの自然の取り入れ

- (1) 山 「赤石」 小中学校の 30%
- (2) 川 「天竜川」 小中学校の 50%

3 飯田高校校歌(福澤悦三郎作詞)への地名・人名の取り入れ

- (1) 地名 ⇄ 小学校 ・「今宮」 ・「^{かざこし}風越」 ・「長姫城」 ・「松川」
- (2) 人名 ⇄ 伊賀良小学校 ・「太宰春台」・「山口^{おふじ}阿藤」 ⇄ ・「芙蓉」・「蓬平」

4 福澤悦三郎・井出茂太と浅井冽の校歌

- (1) 福澤・井出コンビ 飯田高校・川路小学校
- (2) 作詞 福澤… 5校 内 3校…作曲も行っている。
- (3) 作曲 井出・浅井冽とのコンビ… 3校



福澤悦三郎(青藍)

5 福澤悦三郎(青藍)

- (1) 明治～昭和前期 全て旧飯田市から西部地区
- (2) 経歴 明治39年 飯田高校校歌制定
- (3) 作曲 数字譜

6 福澤悦三郎・浅井冽が好んで使った用語

- (1) 勉学に関する用語
- (2) 将来にわたって生きる姿
- (3) 特記 ・福澤→「アルタイの山」
・浅井→「天^{あめ}の中川」



井出茂太先生

7 井出茂太

- (1) 飯田中学への赴任(?)
- (2) ピアノ購入



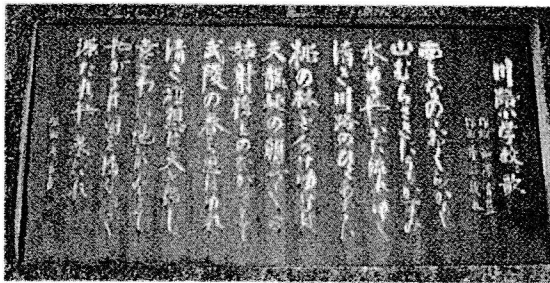
『心のふるさとわが母校』を通して
校歌物語 29

昨年6月、飯田下伊那小・中学校の沿革や校歌に関わる拙著を発売した。その中から飯田中学校校歌の作詞者福澤悦三郎(青藍)と作曲者井出茂太を取り上げ、郡下小学校との関連を述べてみたい。表のように「福澤・井出」のコンビで作られた校歌は、明治38年制定の川路小1校のみで

福澤悦三郎・井出茂太作成校歌

年	校名	作詞者	作曲者
明38	川路小	福澤悦三郎	井出茂太
明39	●飯田高校	福澤悦三郎	井出茂太
明40	鼎小	浅井 洌	井出茂太
?	丸山小	浅井 洌	井出茂太
明42	三穂小	福澤悦三郎	福澤悦三郎
明43	伍和小	浅井 洌	井出茂太
明45	小野川小	福澤悦三郎	
大 2	会地小	福澤悦三郎	宮沢 保之
昭 2	伊賀良小	福澤悦三郎	福澤悦三郎
昭和3	山本小	福澤悦三郎	福澤悦三郎

ある。あとは福澤の作詞が5校、井出作曲が3校で、いずれも単独で作られている。



川路小学校校歌

福澤作詞校6校は、当時の飯田町より西側に位置し、更に隣接する学校でほぼ同時期に制定されている。具体的には、飯田中学の校歌制定の前後に川路小と三穂小、明治末から大正にかけて小野川小

と会地小(現阿智第三小・第一小)、昭和初頭に伊賀良小と山本小である。隣接し合う学校にとって校歌の有無は、互いに意識せざるをえない重要なことであつたと思われる。そして、飯田中学で福澤から教えを受けた若者たちが、各校で代用教員を務めていたことから、恩師福澤に依頼したのは自然な流れであつたに違いない。福澤は、明治45年(1912)以降は松本女子師範学校に転任したが、その15年後にも伊賀良小と山本小の校歌を作っている。ここ

に、師弟のつながりを大切にする福澤の教師としての人間性がうかがえる。更に、三穂小・伊賀良小・山本小3校においては、彼が作曲も手がけており、興味深いところである。

一方、井出作曲校3校の作詞は浅井洌である。当地における浅井の作詞校は12校で、作曲はほとんどが彼の勤務先である長野師範の音楽担当者であつた。勤務場所、専門分野、30歳の年齢差等々の違いを思うと、両者の接点はどこにあつたのか知りたいところである。小木曾 豊(高19)